

東北森林管理局 津軽森林管理署・金木支署

国民の森林・国産材

次代に引き継ぐ国民参加の美しい森林づくり

国有林の森林計画づくりに地域の声を



林野庁 東北森林管理局
津軽森林管理署・金木支署

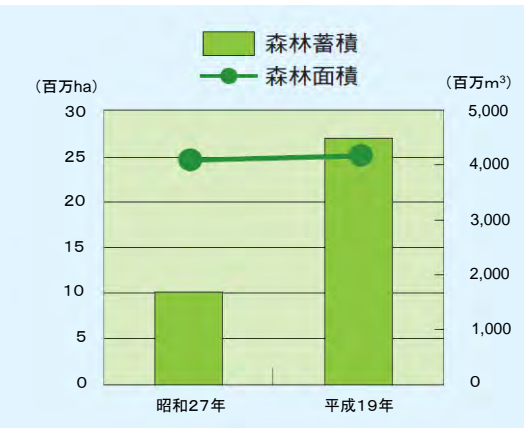


INTERNATIONAL YEAR OF FORESTS · 2011

東北森林管理局 津軽森林管理署・金木支署

● 日本の森林について

- 日本の森林
約2,510万ha
(国土面積の7割)
- 民有林
約 1,740万ha(約7割)
- 国有林
約 770万ha(約3割)

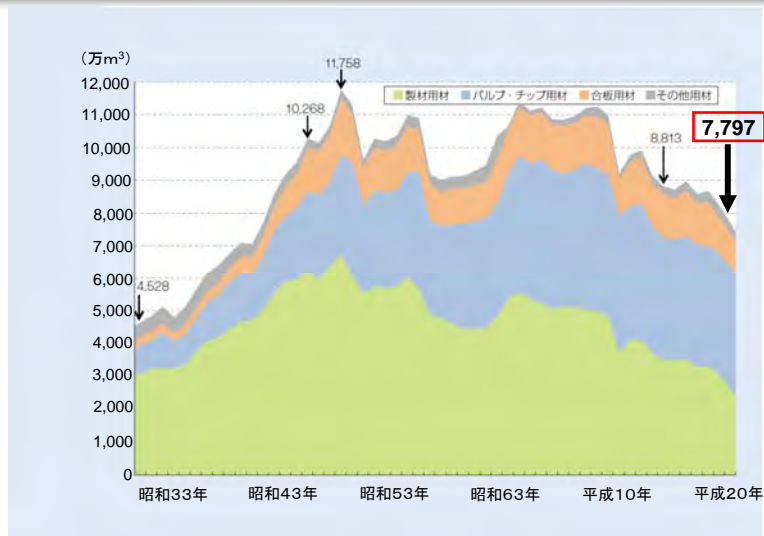


| 年次 | 森林蓄積 (百万m ³) | 森林面積 (百万ha) |
|-------|--------------------------|-------------|
| 昭和27年 | 約1,000 | 約4,000 |
| 平成19年 | 約2,500 | 約4,000 |

※ 昭和27年の森林面積の統計がないので、昭和26年8月1日現在の数値を使用

森林資源量の推移

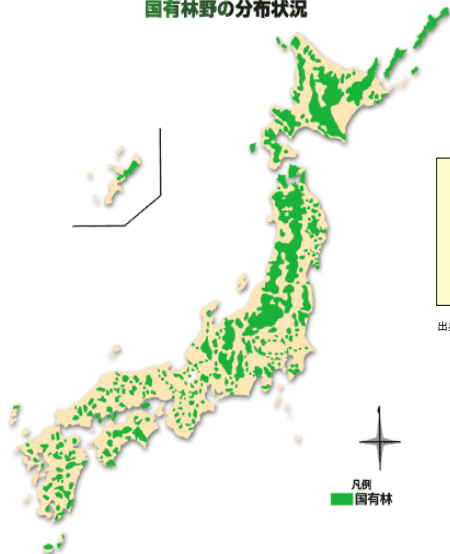
● 木材需要量の推移



木材需要量の推移

● 国有林野とは

国有林野の分布状況



国有林野(760万ha)の内訳



出典: 林野庁「森林・林業白書 平成21年版」及び総務省統計(平成21年)



● 国有林の目標

● 目標

1. 国土の保全その他国有林野の有する公益的機能の維持増進
2. 林産物の持続的かつ計画的な供給
3. 国有林野の活用による地域の産業の振興または住民の福祉の向上への寄与

基本方針に即した管理経営

1. 公益的機能の維持増進を旨とした管理経営
2. 森林の流域管理システムの下での管理経営
3. 国民の森林としての管理経営

● 森林計画の意義

無秩序な
森林の開発



森林の荒廃を招き、山崩れや風水害による災害を発生させる原因

無計画な伐採



森林資源を減少させ、林産物供給の面でも大きな混乱をきたすおそれ

森林の造成には超長期の年月を要する
国民経済に大きな影響

長期的な視点に立った
計画的かつ適切な森林の取扱いを
推進することが必要



森林計画の区域

●森林計画区域の設定

農林水産大臣が
都道府県知事の意見を聞き、
地勢その他の条件を勘案し、
主として流域別に都道府県の
区域を分けて定めている

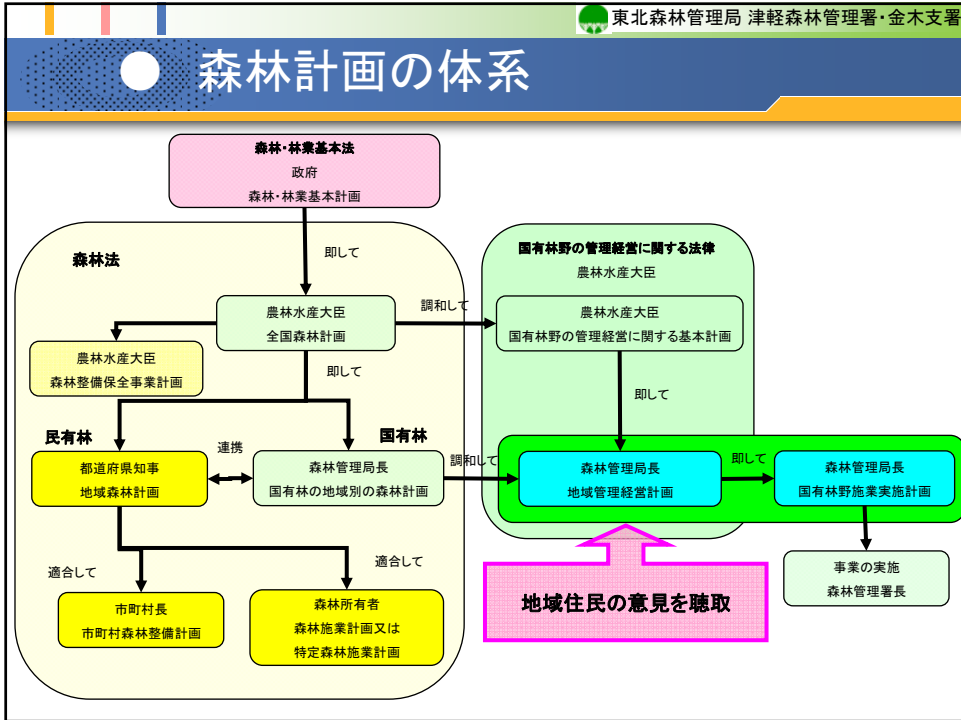
全国で158森林計画区を設定

うち東北森林管理局管内に
17森林計画区

東北森林管理局管内【17計画区】

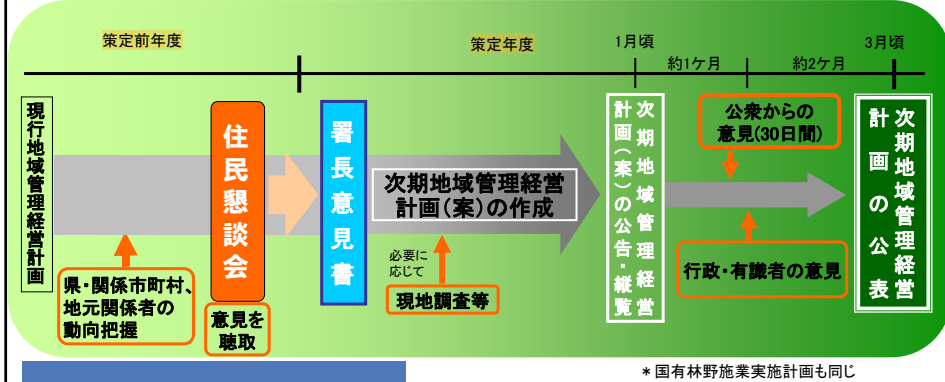


森林計画の体系



● 森林計画策定の仕組みと住民懇談会の位置付け

● 地域管理経営計画等策定のプロセス



● 住民懇談会の位置付け

地域管理経営計画等の計画策定手続き前に多様な関係者が一堂に会する場を設定

- ◆ さまざまな地域情報
- ◆ 多様な地域住民・関係者の意見を収集・反映

● 津軽森林計画区の特徴



● **位置**: 青森県の西部に位置する岩木川流域、白神山地

● **特徴**: 白神山地＝森林生態系保護地域を設定
【世界遺産にも指定された貴重な自然環境】

● 計画区内の国有林

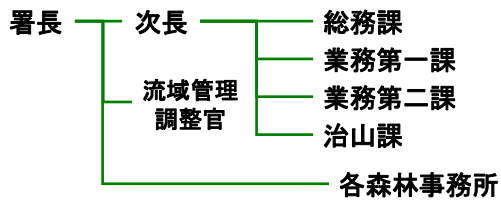
- 岩木川の各支流の源流部等
＝津軽平野の水源地带(水源かん養保安林が多い)
- 人工林率: 34%
- 森林生態系保護地域や国定公園など
＝豊かな自然環境が保全されている森林が多い



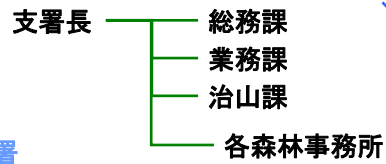
白神山地

● 組織図

津軽森林管理署



金木支署



金木支署管内

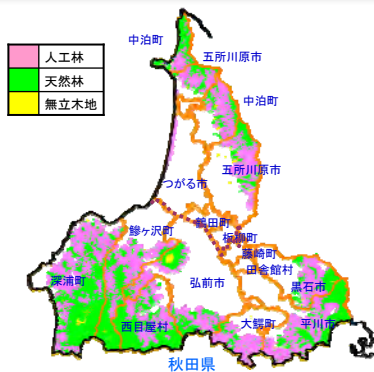
津軽森林管理署管内

● 津軽森林計画区の特徴

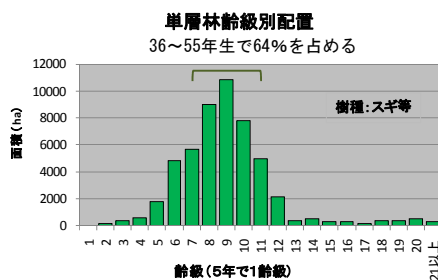
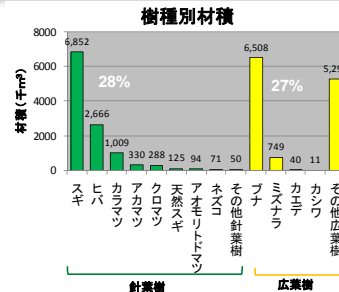
| 市町名 | 市町村面積 | 森林面積 | うち国有林 | 森林率(%) | 国有林率(%) | 管轄(支)署 |
|-------|---------|---------|---------|--------|---------|--------|
| 弘前市 | 52,360 | 23,490 | 14,971 | 45 | 64 | 津軽 |
| 黒石市 | 21,696 | 14,497 | 8,829 | 67 | 61 | 津軽 |
| 五所川原市 | 40,458 | 21,783 | 15,790 | 54 | 72 | 金木 |
| つがる市 | 25,385 | 3,891 | 922 | 15 | 24 | 金木 |
| 平川市 | 34,581 | 25,904 | 20,249 | 75 | 78 | 津軽 |
| 鯉ヶ沢町 | 34,299 | 27,057 | 19,227 | 79 | 71 | 津軽 |
| 深浦町 | 48,884 | 44,246 | 37,057 | 91 | 84 | 津軽 |
| 大鰐町 | 16,340 | 12,897 | 7,674 | 79 | 60 | 津軽 |
| 中泊町 | 21,633 | 15,282 | 13,566 | 71 | 89 | 金木 |
| 西目屋村 | 24,658 | 22,812 | 20,507 | 93 | 90 | 津軽 |
| 計 | 320,294 | 211,859 | 158,792 | 66 | 75 | |

森林資源の状況

計画期間 平成19年4月1日
平成24年3月31日



| 区分 | 面積 (ha) | 材積 (千m ³) |
|------|---------|-----------------------|
| 人工林 | 51,658 | 9,086 |
| 天然林 | 99,983 | 15,002 |
| 竹林 | - | - |
| 無立木地 | 3 | 0 |
| 計 | 151,644 | 24,088 |



機能類型区分について

国有林を水土保持林、森林と人との共生林、資源の循環利用林に区分し、それぞれの機能類型にふさわしい管理経営を推進

水土保持林
(国土保全タイプ・水源かん養タイプ)

- 目標とする森林の姿
土砂流出・崩壊の防備、水源のかん養等安全で快適な国民生活を確保することを重視する森林
- 森林の取扱い
樹根や表土の保全、下層植生の発達が期待される育成複層林施業、長伐期施業等を推進



森林と人との共生林
(自然維持タイプ・森林空間利用タイプ)

- 目標とする森林の姿
原生的な森林生態系等貴重な自然環境の保全や、国民と自然のふれあいの場としての利用を重視する森林
- 森林の取扱い
野生動植物の生息・生育する森林の保護・整備、森林浴や自然観察等保健・文化・教育的な活動の場の整備、自然景観の維持等を推進



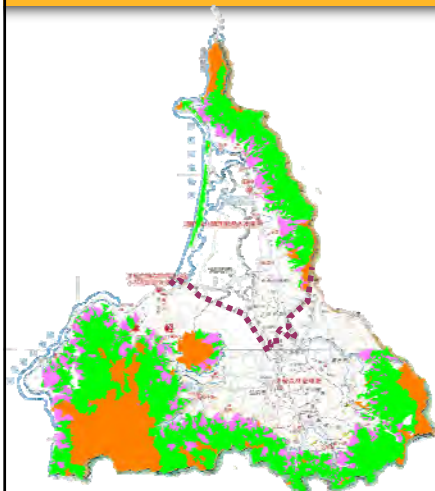
資源の循環利用林

- 目標とする森林の姿
環境に対する負荷が少なく、再生産が可能な素材である木材の効率的な生産を行うことを重視する森林
- 森林の取扱い
森林の健全性を確保しつつ、多様化する木材需要に応じた材木を育成するために適切な更新、保育および間伐を推進



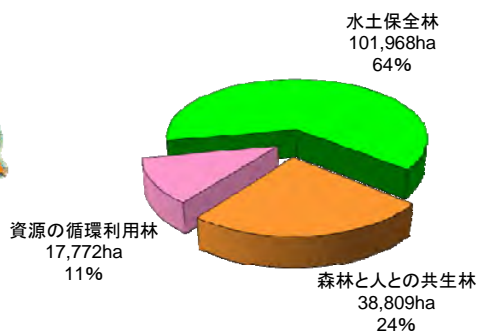
機能類型ごとの面積と分布

計画期間 平成19年4月 1日
平成24年3月31日



| 凡 例 | |
|---------------------------------------|-----------|
| ■ | 水土保全林 |
| ■ | 森林と人との共生林 |
| ■ | 資源の循環利用林 |

- ①水土保全林
(国土保全タイプ・水源かん養タイプ)
- ②森林と人との共生林
(自然維持タイプ・森林空間利用タイプ)
- ③資源の循環利用林

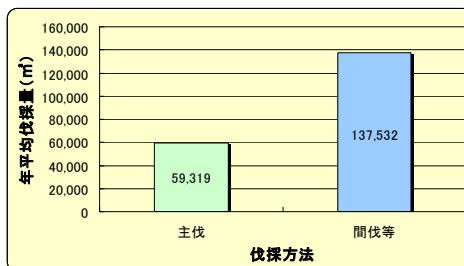


計画区の伐採量

計画期間 平成19年4月 1日
平成24年3月31日

| ●伐採量： | 計画量 | 実績 |
|-----------|------------------------------|------------------------------|
| | (H19～H23の平均値) | (H19～H22の平均値)※ |
| 主伐 | 59,319 m ³ | 55,577 m ³ |
| 間伐等 | 137,532 m ³ | 120,501 m ³ |
| 合計 | 196,851 m³ | 176,078 m³ |

※ 実績のうち平成22年度分は予定量で計算



高性能林業機械による間伐

● 計画区の造林量

計画期間 平成19年4月 1日
平成24年3月31日

| ●造林量： | 計画量 (H19~H23) | | 実績 (H19~H22) ※ | |
|---------------------|---------------|----------|----------------|--------|
| | 総量 | 年平均 | 総量 | 年平均 |
| 人工造林： | 4 5 0 ha | 9 0 ha | 1 1 1 ha | 2 8 ha |
| 天然更新： (天然下種・ぼう芽) | 6 3 8 ha | 1 2 8 ha | 4 3 ha | 1 1 ha |

※ 平成22年度分は予定量で計算



人工造林



天然下種



ぼう芽

● 計画区のおの他の事業量

計画期間 平成19年4月 1日
平成24年3月31日

| ●林道等建設延長 | 計画量 | 実績 ※ | ●治山施設数量 | 計画量 | 実績 ※ |
|----------|-----------|-----------|------------------|-----------|-----------|
| | (H19~H23) | (H19~H22) | | (H19~H23) | (H19~H22) |
| ・新規開設 | 41,891 m | 4,935 m | ・保安施設 (治山ダム等) | 8 7箇所 | 5 4箇所 |
| ・改良 | 60 m | 5,824 m | ・保安林整備 | 1,843 ha | 1,579 ha |

※ 実績のうち平成22年度分は予定量で計算



林道の開設



溪間工



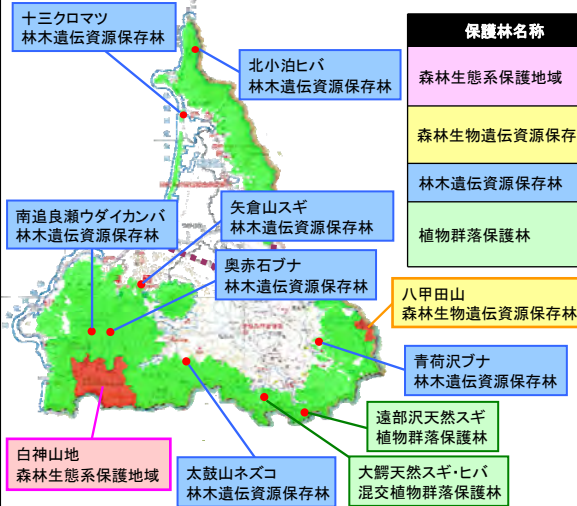
山腹の保全

管内の保護林

計画期間 平成19年4月 1日
平成24年3月31日

●保護林

原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、施業及び管理技術の発展等に資することを目的として、区域を定め、禁伐等の管理経営を行うことにより、保護を図っている森林



| 保護林名称 | 特徴 | 箇所数 | 面積(ha) |
|-------------|------------------------------------|-----|--------|
| 森林生態系保護地域 | 森林生態系・生物遺伝資源の保存、野生動植物の保護を図る森林 | 1 | 12,627 |
| 森林生物遺伝資源保存林 | 森林生態系を構成する生物全般の遺伝資源を保存する森林 | 1 | 1,192 |
| 林木遺伝資源保存林 | 主として、林木の遺伝資源を保存する森林 | 7 | 66 |
| 植物群落保護林 | 我が国を代表するものとして保護を必要とする植物群落などを保護する森林 | 2 | 55 |



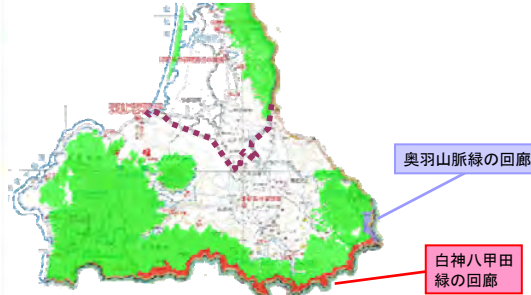
奥赤石ブナ林木遺伝資源保存林

●緑の回廊

野生生物の移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促し、より広範かつ効果的な森林生態系の保全を図っている森林



| 名称 | 内容 | 面積(ha) | 延長(km) |
|-----------|--|--------|--------|
| 奥羽山脈緑の回廊 | 八甲田山、八幡平、玉川・葛根田川上流、栗駒山・栃ヶ森山、船形山、蔵王山の保護林を連結して、森林の連続性を確保し、森林生態系の一層の保護・保全を図り、生物多様性の維持に資する | 1,021 | 9 |
| 白神八甲田緑の回廊 | 世界遺産でもある白神山地森林生態系保護地域から、青森・秋田県境沿いに、八甲田・十和田湖周辺までの森林の連続性を確保し、奥羽山脈緑の回廊に連結することにより、森林生態系のより一層の保護・保全を図り、生物多様性の維持に資する | 8,005 | 45 |



奥羽山脈緑の回廊

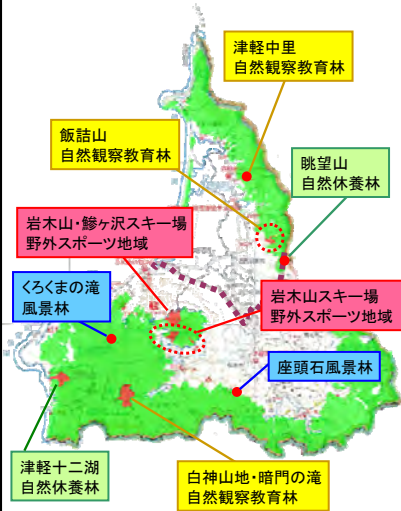
白神八甲田緑の回廊

管内の緑の回廊

計画期間 平成19年4月 1日
平成24年3月31日

管内のレクリエーションの森 計画期間 平成19年4月 1日 平成24年3月31日

●レクリエーションの森
国民の保健・文化的利用を積極的、計画的に推進するための森林



| 名称 | 特徴 | 箇所数 | 面積(ha) |
|----------|--|-----|--------|
| 自然休養林 | 特に風景が美しく、保健休養に適した地域 | 2 | 1,137 |
| 自然観察教育林 | 当該地方の自然を特色付け、小中学校の自然科学教育などに適した地域 | 3 | 1,689 |
| 野外スポーツ地域 | スキー場等のスポーツ施設や滞在施設として利用する地域 | 2 | 1,410 |
| 風景林 | 名所などの背景にあり、これらと一体となって優れた景観を作り出している地域など | 2 | 147 |



津軽十二湖自然休養林(青池)



白神山地・暗門の滝自然観察教育林(暗門の滝(第一))

● その他管内の特徴的な取組み 1

白神山地周辺地域自然再生計画

自然再生の基本的な考え方

- (1) 息の長い森林作り**
100年、30年単位の長期、中期的な目標を踏まえ、短期的な方針・取組みを立てて、モニタリングによる検証を行いつつ計画を実行。
- (2) 自然環境の保全・再生**
世界遺産地域の林相に近い状態の森林を目指す。
- (3) 人との関わりを重視した森林づくり**
森林空間利用タイプに機能類型された森林においては、森林環境教育、ボランティア団体等の活動など、人との関わりを重視した計画づくりを行う。
- (4) 多様な参加主体による整備**
地域住民だけでなく広く国民との連携による活動や企業の社会貢献活動など、多様な参加主体による森林整備を推進するとともに、関係行政機関、自然保護団体、NPO、学識者間の合意形成の場を設け、円滑な遂行・運営を目指す。

同じ流域から採取した広葉樹稚幼樹による
広葉樹林化用の苗木を供給するための活動



広葉樹苗木の採取



養苗

● その他管内の特徴的な取組み 2

海岸林の再生



風倒木発生時
 被害本数：736本(クロマツ)
 被害材積：289.78m³
 (平成21年2月)



クロマツ植栽時
 植付面積：1.56ha
 植付本数：7,792本(クロマツ)
 (平成22年8月)

金木支署402林班い1小班(つがる市)

● 新計画策定に向けての署(署長意見書)の基本的考え方

① 林業再生という課題の中での国有林の役割の発揮

- 地球温暖化防止対策も含めた事業量の増加、森林共同施業団地の設定等を通じた民間連携の推進を行うなど、林業再生に国有林が率先して取り組みます。



② 世界自然遺産白神山地をはじめとする豊かな自然環境の保護管理

- 平成24年度のユネスコ定期報告に向けて世界自然遺産である白神山地の保全管理に関係機関や地域と連携して進めます。
 また、白神山地周辺地域をはじめ、その他の地域においてもその特性に応じた保全管理に努めます。



白神山地世界遺産地域連絡会議

● 新計画策定に向けての署(署長意見書)の基本的考え方

③ 病虫害対策の推進

- マツ以外の樹種からなる樹林帯をつくるなど、これまでの対策に引き続き、民有林と連携した松くい虫対策に取り組めます。
また、今年度民有林で初めて被害が確認されたナラ枯れについても日常の巡視による被害の早期発見、拡大防止に努めます。



松くい虫対策の防除帯
(津軽署管内)



次代に引き継ぐ国民参加の美しい森林づくり

国有林の森林計画づくりに地域の声を



林野庁東北森林管理局
津軽森林管理署・金木支署